

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程		
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現・生徒の学力の充実		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路実現率向上：現役国公立大学合格者数3年後に130人（平成28年度 81人） 大学センター試験における、全国平均に対する寝屋川高校生平均得点率を3年間で10%向上 生徒の授業満足度向上：強い肯定回答率50%以上（平成28年度 強い肯定35% 肯定52% 肯定以上計87%） 		
計画名	キー・コンピテンシー能力育成を念頭に置いた授業力向上計画 ～真善美の寝屋川高校は、1200人1200通りの伸びと自己実現を支援します！～		
学校経営計画の 中期的目標	<p>1. 学力を伸ばす</p> <p>(1) 組織的な授業研究の推進「考える力の育成」「双方向の授業」(2) 新たな教授方法や教材の開発、外部資源の活用(3) 3年間の学習目標と計画の策定「基礎基本の徹底」(4) 学力把握と分析による戦略的仕掛けと全体化(5) テンミニッツの推進とタブレットの活用(6) 講習、補習の計画的実施と内容の充実(7) ICTを活用したわかりやすい授業づくり(8) 学習指導要領や大学入試制度改革に向けた準備と対策</p> <p>2. 21世紀型能力の育成</p> <p>(1) 主体的、能動的学習の確立「A.Lの進化」(2) 部活動の積極的推進「個と集団の力」(3) コミュニケーション能力の育成「プレゼンの機会設定」(4) 生徒主体のHR活動や行事の企画運営「自主自立」(5) 休まず続けることができる生徒の育成「粘り強い精神力」(6) 豊かな人権感覚と国際感覚を育む体験学習の推進「多様性」(7) 文化活動、読書活動の積極的推進(8) 社会貢献やボランティア活動、各種コンテストの推奨</p>		
事業目標	<p>本校は現在キー・コンピテンシー能力育成を念頭に置いた授業改善を進め「真善美」*の学力向上をめざして取り組んでいるが、まだまだ生徒の伸びしろは十分ある。そこで、各HR教室に短焦点プロジェクターを設置し、ICTを活用した授業の充実を中心に更なる授業改善の取組みを進める。「視覚や聴覚に訴える」「板書時間の削減」等を実施することで、座学授業はもとより実験・実習を含むすべての授業で「生徒が自主的に取り組み活動する時間を確保する。それにより、様々な生徒主体の活動を取り入れる」ことで、生徒一人ひとりがそれぞれに「まだ見ぬ己（なりたい自分）」を発見し進路目標をしっかりと持つことにより、学習に対する意識を高め、進路実現（現役合格）をかなえることを支援する。</p> <p>*真善美：寝屋川高校校訓 知性（認識能力）、意志（実戦能力）、感性（審美能力）のそれぞれに応じる超越的対象</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	短焦点プロジェクター（全HR教室に設置）	
	取組内容	前年度	2年前に導入したテンミニッツ（スマホ等の端末を使った学習）の更なる充実、PTによる研究や実践（5月～）、プレゼンテーションソフトの効果的活用指導（通年）、2年生全員タブレット導入決定に伴うICTを活用したALへの取組み（9月～）、それに向けた大教大教授によるICTを使ったALの事例検討研修（1月）、不登校生徒や教室に入りにくい生徒向けのタブレットを用いた学習の検討（10月～）
		初年度	先進的取組校への取材（夏季休業中）、各教科での授業内容の検討（～8月）、連携大学の協力による機器使用に向けた教員研修（8月）、中心メンバー・有志による授業実践（9月～）、中心メンバー・有志による公開授業・研究協議（校内）（1月）、授業アンケートの分析と情報共有（1月）、今年度の評価（2月）、次年度に向けた教科別活用の検討・決定（3月）
		2年目	全教科での活用（4月～）、積極活用者による公開授業・研究協議（校内外）（7月～1月）、授業アンケートの分析と情報共有（8月・1月）、教科別活用状況に対する評価（2月）、次年度に向けた教科別活用方法の検討（3月）
		3年目	全教科での複数・応用活用（4月～）、各教科による公開授業・研究協議（校内外）（7月～1月）、授業アンケートの分析と情報共有（8月・1月）、教科別・個人別活用状況に対する評価（2月）、次年度に向けた教科別活用方法の検討（3月）、3年間の評価検証のうえまとめ冊子を作成し報告会を実施（年度末まで）、次の3年間の取組み検討・決定（年度末まで）
取組みの 主担・実施者	<p>取組みの主担：「授業力向上PT」（校長・教頭・首席・指導教諭・教務主任・進路指導主事・情報主担・学力向上委員会・プロジェクター活用得意者・プロジェクター活用不得意者）</p> <p>取組みの実施者：全教員</p>		
成果の 検証 指標 方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学「現役」合格者数：前年度比 15人増（平成28年度 81人）、 大学入試センター試験の全国平均に対する寝屋校生得点率 前年度比3%向上 （平成28年度 国語108% 数学112% 英語112%） 学校教育自己診断の「授業のわかりやすさ」「授業での生徒の活動機会」の項目：強い肯定を前年比5%向上 （平成28年度 強い肯定31%、38%・肯定以上87%、87%） 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学「現役」合格者数：前年度比 15人増 大学入試センター試験の全国平均に対する寝屋校生得点率 前年度比3%向上 学校教育自己診断の「授業のわかりやすさ」「授業での生徒の活動機会」の項目：強い肯定を前年比5%向上 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学「現役」合格者数：前年度比 15人増 大学入試センター試験の全国平均に対する寝屋校生得点率 前年度比3%向上 学校教育自己診断の「授業のわかりやすさ」「授業での生徒の活動機会」の項目：強い肯定を前年比5%向上 	

3. 事業費

事業費総額	3,993,900	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1	先進事例取組視察(管外)	○			¥33,900	1	¥33,900
	2							
	3							
							小計	¥33,900
3 消耗需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	超短焦点プロジェクター一式				¥165,000	24	¥3,960,000
	2							
	3							
							小計	¥3,960,000
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
							小計	
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥3,993,900

積算内訳